日記

一九四九年（昭和二十四年）

宮本百合子

青空文庫

五月二十二日（日）
休日
このごろ日曜は完全休日にする。

五月二十三日（月）
仕事

五月二十四日（火）

五月二十五日（水）

五月二十六日（木）
仕事、治療。

五月二十七日（金）
仕事、大森さん開成山へゆく。

五月二十八日（土）
仕事。

五月二十九日（日）
休日

このごろ、バレーボールがはじまった。宮、古村、咲、熱血キャーキャーワーワー。我を忘れて見物。宇佐美、青い服、遊んで桃色に見える手や足、若葉　古村のしゃれ。なかなかおもしろい。

五月三十日（月）
仕事。
ずっとつけていた黒い手帖が見えなくなってしまった。惜しい。しかたがないからまたでて来るまでこれにつける。仕事今月は百枚突破のヨテイ。

五月三十一日（火）
小説一〇三枚になった。

六月二十八日（火）
政治局と新日本文学、文化部その他の合同会議、党員芸術家会議うち合わせで、Toが宮本百合子の作品の大悪口を云った由。

七月一日（金）
あんまりむちゃで殆ど基本的人権をふみにじっているから抗議をかいた。（下がき）
大森寿恵子とまる。

七月二日（土）
四部コピーをとって、一部To、文化、新日本文学におくる。

七月三日（日）
党員芸術家会議、前進座、宮、出席、大村（今日これをよむのかね）（次第によっては、ね）クラ、（百合子さんのをよんだか。話が出たらよまなくてはなるまい）Nish（ヤーきょうは宮本百合子のことは話さんよ）
どうしてToが話すか話さないか知っているのだろう。

七月五日（火）
宮、治療
国鉄総裁下山行方不明、いかにもComが暴力をふるったように扱っている。

七月六日（水）
Toのおかげで仕事を八日も棒にふってしまった。

七月七日（木）
下山、おかしいところで、ひかれている。この辺に女がある（自分）自殺説をつよく感じる。

七月九日（土）
治療

七月十一日（月）
小説88枚（第二章わたす）
宮自由病院でしらべ、幽門にひきつれ（痕跡）があるだけという。

政治局員に、まわしよみをさせている由、おどろき入ったもの。

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集　第二十五巻」新日本出版社
1981（昭和56）年7月30日初版
1986（昭和61）年3月20日第4刷
入力：柴田卓治
校正：富田晶子
2020年1月24日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

日記

一九四九年（昭和二十四年）

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　宮本百合子
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/